

## 矢祭の古民家「昆虫館」

### 23日にプレオープン

#### 絶滅チョウ標本 世界初公開

アゲハチョウの世界的研究家の中江信（まこと）さんを代表にした仲間たちが矢祭町小田川の国道三四九号沿いの古民家を活用して整備を進めている「虫の里・福島奥久慈昆虫館」が

二十三日午前十時から、

チョウの希少種の標本などを中心にプレオープンする。当面は母屋ではなく、敷地内にある土蔵のみが展示スペースとなり、無料で入館できる。

当日は、九十年前に絶滅したとされる、南米原産の



チョウ「イピタスタイマーの標本が世界で初めて公開さ

れるほか、奥久慈に関係する四種類の記念切手とその標本、パネルの展示とともに中江さんらがその場で説明に当たる。

古民家の住所は、矢祭町小田川字弥三郎内二。全体の敷地面積は約三千三百平方メートル、中央の母屋の建て面積は約三百平方メートル、プレオープンする土蔵は約百四十平方メートル。

「昆虫館」は当面、日曜日と祝日のみ開館する。時間は午前十時から午後四時まで。入館無料。

最終的には母屋が本館となり、展示だけでなく関係

図書の間覧、子供たちを対象にした自然環境、生物などの学習といった事業を展開していく。本格オープンは秋ごろを目指している。

昆虫館のオープンは雑誌「コヨーテ」のウェブ版「スイッチ パブリッシング」に紹介されたほか、十五日発売の「コヨーテ」巻末のインフォメーションコーナーに掲載される。

昆虫館に関する問い合わせは、「虫の里・福島奥久慈」事務局 電話04（7111）0923へ。

（写真はチラシと「コヨーテ」記事のQRコード）